

平成 27 年 5 月 29 日

～広島大学病院～

理学療法士をスポーツ医学研究のため 1 年間海外へ派遣

広島大学病院は、リハビリテーション部門の理学療法士 1 人を、初めてオーストラリア・シドニー大学へ長期で派遣することを決定しました。スポーツ医学のスキルアップが目的で医療技術職の長期海外派遣は全国の国立大学病院でもあまり例がありません。

広島大学病院は、平成 25 年 9 月に中四国では初めてスポーツ医科学センターを設置しました。

本センターでは、スポーツ動作を医科学的側面から評価分析し、スポーツ障害予防の根拠表示および早期復帰に向けたパフォーマンス向上プログラムの開発に取り組んでいます。本センターで集積した情報は県内外へ発信し、ジュニアからプロスポーツさらには障がい者スポーツの支援を目指しています。

国際的な潮流である科学的なエビデンスに基づいたトレーニング、障害予防の取り組みに対応するためには、スポーツにおける動作解析に実績のある海外の大学と共同研究を進め、研究を加速させる必要があります。昨年度はシドニー大学の研究者を招聘し、技術指導を受けました。

今年度は、理学療法士をシドニー大学に約 1 年間派遣し、新たな研究手法を獲得させるとともに、研究者ネットワークの構築を図ります。これまでは、大学教員による共同研究が主体でしたが、今後は病院の医師や医療技術職など幅広い医療スタッフも実践的な研究を進める必要があり、今回の派遣は医療技術職員の意欲および技術の向上にも意義深いものです。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを、中四国の代表として、広島大学が医科学側面からサポートできるよう国際連携の強化を図ります。

- ◆派遣予定期間：平成 27 年 6 月下旬～平成 28 年 5 月末
- ◆派遣先：シドニー大学／シドニー（オーストラリア）
- ◆派遣職員：雁瀬 明（リハビリテーション部門・理学療法士）35 歳
- ◆派遣先身分：博士研究員
- ◆従事内容：動作分析の技術研修

【お問い合わせ先】

広島大学病院 診療支援部長 伊藤義広
TEL：082-527-5358